

団体戦における大会参加注意事項

東京都中体連テニス部 令和8年9月

1. 大会参加に際して ※ 下記のことが守られない場合は、試合に出場できなくなる場合がある。

(1) 会場での行動について

- ① ビン、缶、パックなどに入ったジュース類は一切持ちこまない。飲み物は自分の水筒などに入れる。(ペットボトルは会場への持ち込みは許可するが、持ち帰ることを前提とする。)
- ② 会場には、お菓子・ゲーム・音楽プレイヤー等を持ち込まない。※携帯電話も通話以外の利用はしない。
- ③ 手洗い場やトイレなど、不特定多数の人が利用する場所では、きれいに利用するように心がけ、不必要な利用や、長時間の利用はしない。
- ④ その他、会場の規則については、会場校のレフェリーの注意、指示に従う。**会場校に迷惑をかけないことが最優先である。**

(2) 施設の利用について

- ① 弁当その他のゴミは必ず自宅まで持ち帰る。会場にゴミ箱が設置されている場合でもゴミ箱にはゴミを捨てない。(会場校周辺は言うまでもなく、途中のゴミ箱などにも絶対捨てないように注意する)
- ② 指定された場所以外には、絶対立ち入らない。
- ③ 更衣室・下駄箱など、会場の施設・物品については、大切に、汚さないように使用するよう心掛ける。
- ④ 忘れ物があつた場合は、基本的に会場では保管しないで処分するようにします。
- ⑤ 特に、学校会場には、学校関係者・保護者の車での上場はできません。
- ⑥ 会場ばかりではなく、会場周辺の迷惑にならないよう気を配る。会場周辺で騒いだりしないよう注意する。

(3) 選手の服装について

- ① テニスウェア及びテニスシューズ着用のこと。(Tシャツ、長袖、長ズボンでは出場できない)
- ② ウェアー、帽子ともロゴ(商標)は、規定にあてはまるものとする。詳細は服装用具規定を参照のこと。
- ③ ラケットのステンシルマークは禁止する。

(4) 大会引率について

- ① 引率教員の引率監督がない場合は出場できない。
- ② 引率教員は受付から試合終了時までチームの選手の監督・指導に責任をもってあたること。
- ③ 選手名簿に記載されている監督と引率教員が異なる場合は、当日会場にて申し出ること。
- ④ 男女同日別会場でその会場に引率教員が集合できない場合は、事前に大会本部に相談し、所定の手続きをとり参加すること。
- ⑤ 出場者及び引率教員は、日程表の指定時刻より早めに会場に集合し、全員そろって試合ができる服装になって、本部に出席を届けること。出席の届け出が遅れたり、届け出がない場合には出場できない。

2. 試合について

(1) オーダー表について

- ① 各校の顧問はオーダー表を確認し、確認サインをしたものを本部に提出する。(令和7年度よりA4版を使用すること。)
- ② オーダー表(記入したもの)は本部役員が確認した後、返却された「オーダー交換用」を用いて試合開始時にオーダー交換を行う。
- ③ オーダーの組み方、提出には次のことに注意する。
 - ・ダブルスは登録した選手の中で、どの2人と組んでもよい。
 - ・同一対抗におけるダブルスとシングルの重複出場はできない。
 - ・学内の実力順に並べる必要はない。
 - ・オーダーは2部作成し、フルネームで記入し相違があってはならない。
 - ・オーダー表は、提出後の変更は認められない。
 - ・対戦校により新しくオーダーを組み直すことができる。

(2) 練習について

- ① 試合前の練習は、サービス4本なので、自分の試合が近づいたら準備運動をしておくこと。
- ② 会場にもよるが、コート外ではボールを使った練習はできない。

(3) 対戦のあいさつ

サービスラインの両サイドに各校1列で選手は整列し、両校で相談し司会をたてて、挨拶・オーダー交換・試合の順番(D2, D1, S3, S2, S1)・対戦相手・試合コートの確認を必ずおこなう。なお、あいさつ時にコートに入場するのは監督、登録選手のみとする。

① 対戦前「開始の挨拶」のやり方

司会：「これより、〇〇〇大会 第〇回戦 A中学校 対 B中学校の対戦を行います。礼」

司会：「各校キャプテンは、オーダー表を交換してください」

[オーダー表交換・握手]

司会：「では、選手の確認をします。両校 キャプテン。」

D2の選手の紹介をしてください」

A中キャプテン：「ダブルス2 (選手名)・(選手名)」

選手は呼ばれたら、返事をして1歩前にでて礼をする。

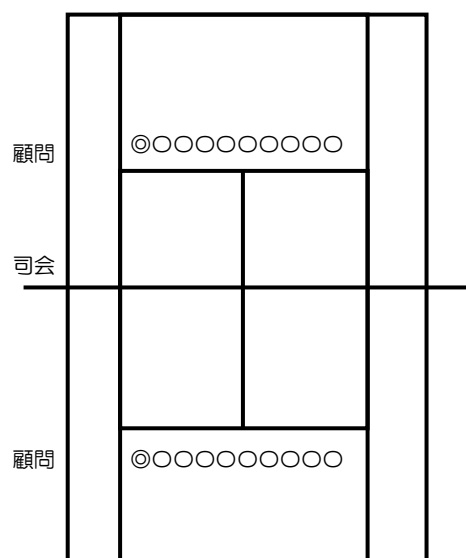
B中キャプテン：「ダブルス2 (選手名)・(選手名)」

選手は呼ばれたら、返事をして1歩前にでて礼をする。

司会：「D1の紹介をしてください。」

以下、D2と同様に、キャプテンが名前を呼び、選手は返事・礼をします。以降、S3、S2、S1も同様に行います。

- ・両校で、必ず選手と名前を確認してください。
- ・その後、司会が、試合コート・審判・副審の確認をして、挨拶を終えます。D2は挨拶をしたコートですぐに試合を始め、順に、D1, S3, S2, S1と試合を進めます。



② 対戦後の「終わりの挨拶」のやり方

司会：「〇〇〇大会 第〇回戦 ○A○中学校対○B○中学校の対戦は、ダブルス ○対○、シングルス ○対○ 計○対○で、〇〇中学校の勝利となります。礼」

挨拶の後、対戦相手と握手をして、コートを離れる。

(4) 審判について

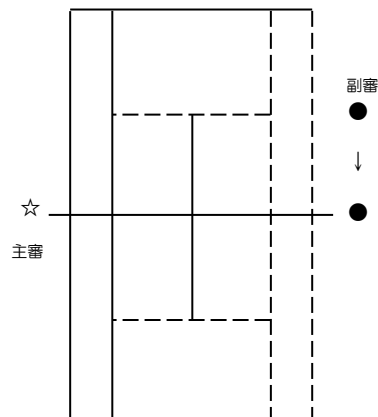
- ① 審判は、試合毎、主審1名、副審1名とし対戦校から出すこと。なお、審判はつけること。
- ② 原則としてドロ番号の小さいチームが奇数番号 (D1, S3, S1) の主審を受け持ち、副審は相手校が受け持つ。
- ③ 審判は登録選手以外の部員でも可とする。
- ④ 審判は、中立な立場をとり、両選手に対して公平なジャッジをするように心がけること。
- ⑤ 主審・副審は、コールを優先します。大きな声でコール・アナウンスをしてください。
- ⑥ ノーレットルールです。

⑦ 主審について

- ・ 主審は、図の実線のラインについてのみ判定する。
- ・ 主審は、試合が終了後速やかに本部に結果報告をする。
- ・ 副審のラインについては、主審が判定することはできない。

⑧ 副審について

- ・ 副審は図の点線の部分についてのみ判定する。
- ・ アウトの場合は、はっきりとコールする。
- ・ ハンドシグナルはしてよいが、必ず声をだすこと。
- ・ サービスの判定後、インの場合はポストの位置まで戻ること。
- ・ 主審のラインについては、副審が判定することはできない。



(5) ベンチコーチについて

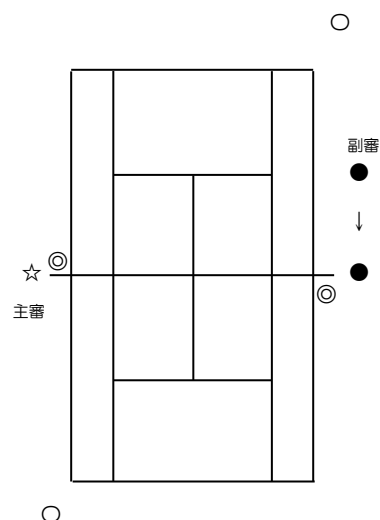
- ① 団体戦では、各コート1名以内でベンチコーチをつけることができる。
- ② ベンチコーチは学校の教員(部活動指導員)または登録選手とし、同日の試合でベンチコーチに入る教員(部活動指導員)は1名のみとする。保護者や外部指導員は、ベンチコーチとしてコートに入ることはできない。
- ③ 選手は、コート内のコーチからエンド交代時に、コーチングを受けてもよい。
- ④ 中体連の団体戦では、1ゲーム終了時のエンド交代時もコーチングを可とするが、タイブレーク中のコートチェンジは、1つのゲームの中でのことなので、アドバイスはできない。
- ⑤ ベンチコーチは、コートの定められた位置にいること。
- ⑥ 助言、指導はコートチェンジの時のみで、規定時間内(90秒)に限る。
- ⑦ その他の選手はコートの外で待機、もしくは応援をすること。
- ⑧ 選手は、ベンチコーチ以外の者からいかなる理由があろうとも助言、指導を受けてはならない。

(6) ボールパーソンについて

- ① 1コート4名以内(各校シングルス2名、ダブルス1名まで)でつくことができる。

- ・ ダブルスでは、○の位置に各校1名ずつつけてもよい。(○は、サイドラインよりも外側で待機する。)
- ・ シングルスでは、◎の位置にも各校1名ずつつけてもよい。(◎は、しゃがんだ姿勢で待機する。)

- ② ボールパーソンは審判の判定(アウト、イン)については、たとえ審判から聞かれても答えてはならないし、審判もそのような態度をとってはならない。
- ③ ボールパーソンは、助言はもちろん、応援もすることはできない。
- ④ ボールパーソンは、ベンチ付近には居てはいけない。



(7) 応援について

- ① サーバーが位置についたら静かにプレーに注目すること。
- ② インプレー中は、音を立てないようにする。
- ③ チェンジコート時は、応援はしない。
- ④ 声を出しての応援は中学生のみとする。それ以外の方の応援は拍手のみとする。
- ⑤ 拍手や声援はポイントが決まったとき瞬時にいき、長いものや悲鳴、拡声器の使用は禁止する。

※「声を出しての応援」については、会場校の指示により制限・禁止になる場合もある。
(試合開始後のルール変更についても会場の指示に従うこと。)

- ⑥ コート外からのアドバイスは禁止である。
「ナイスショット」「ガンバレ」「先リード」「ポイント」「もう一本」などの言葉は、コーチングにならない。「前に出ろ」「ロブを使え」「もっと振り抜け」などは、技術や戦術をアドバイスしているので、コーチングと判断される。
- ⑦ 相手選手の一方向的ミス（アンフォーストエラー）に対して応援したり、相手選手や審判にとかく言うこと（野次）は慎むこと。応援は、全ての責任をそのチームで負うこと。

(8) 選手がコートに入ったら

- ① 主審は両選手を確認してから試合を始めるようにする。
- ② けいれんその他自然的体力消耗による休憩は選手の判断でできない。応急処置が必要な場合は大会本部の許可を受けること。
- ③ ボール(イン・アウト)の裁定には審判に従うこと。
- ④ カウント・ルールの解釈についての異議・質問は申し出てもよいが選手、ベンチコーチに限る。

(9) 試合が終わったら

- ① 勝利校の代表者は、本部へ提出し最終報告し、次の試合の詳細を確認すること。
- ② 有明テニスの森公園開催の場合は、試合球は敗者校の持ち帰りとする。

3. マナーについて

スポーツマンシップはすべてのプレーヤーにとって大切なこと。すべてのプレーヤーはスポーツマンシップに反する行為やテニスにとって好ましくない行為をしないように、以下のことを守らなくてはならない。

- (1) プレー中の時間かせぎをしてはならない。コートチェンジは90秒以内。ポイント間などは25秒以内。
- (2) ラケットや腕を振り回したり音を立てたりして、わざと相手の気を乱すようなことはしてはいけない。
- (3) 試合中にベンチコーチ以外の者からアドバイスを受けてはならない。両親や友人やコーチを含め、観衆はコート上のことに干渉してはいけない。
- (4) 試合のなりゆきにかかわらず学校を代表する選手として最後のポイントまで全力を尽くし真剣にプレーすること。
- (5) 一旦メンバーとして登録されたら、病気やケガなどやむを得ない緊急事態が起こった場合を除いてデフォルトしないようにすること。

4. エチケット

- (1) 試合中のコートのそばを通るときにはポイントが終わるまで待つこと。
- (2) 他のコートに入ったボールを取りに行く時や、自分のコートに入ったボールを返す場合にはプレーのポイントが終わるまで待つこと。
- (3) 試合終了後は、審判に対しても心をこめて挨拶ができる選手になるよう心掛ける。
- (4) 試合後、みんなでゴミ拾いや清掃に心掛け、会場校に礼を尽くしてから会場を離れましょう。

5. 大会に関する連絡について（雨天などによる中止連絡など）

- (1) 試合についての連絡は、2日前16時までに試合の会場や連絡事項を、東京都中体連テニス部連絡用ブログ【<http://ctr-tennis.seesaa.net>】上に掲示します。天候不良などでは前日に更新されることがあります。連続して翌日に試合がある場合は、当日会場での指示と、その日の18時以降に掲載されるブログ掲示で確認してください。
- (2) 会場校への電話連絡は迷惑になるので、絶対しないこと。
- (3) 当日朝に連絡が必要な場合は、連絡ブログ上に朝6時以降6時30分までに、連絡が入ることがあります。特に連絡がない場合は、集合することを前提とする。

6. その他

- (1) 公営コート会場を利用する際の注意事項について
 - ① 大きな声だしながらのランニングは、地域住民の迷惑となりますので、行わないでください。
 - ② コート外では、ボールを使用した練習はできません。それ以外の手段でウォームアップをしてください。
 - ③ 都大会会場A・Cコートエリア内には、大会で発行されたIDカードを所持する大会役員、学校関係者と、中学生とします。保護者や卒業生などの観戦は、A・Cコートエリア外から（フェンスの外）の観戦とします。なお、観戦時は声を出しての声援・声掛けはせず、拍手を中心としたものにしてください。
 - ④ 観戦は、コート後方からの観戦とし、コートサイドからの観戦はしないこととします。
- (2) 問合せなどについて
 - ① 東京都中体連テニス部主催大会については以下のサイトでご確認ください。天候不良などの変更連絡など、急な連絡は連絡用ブログから行います。
 - ・東京都中体連テニス部 HP (<http://ctr-tennis.com/>)
 - ・東京都中体連テニス部大会連絡用ブログ (<http://ctr-tennis.seesaa.net/>)
 - ② 上記で分からない点については、東京都中体連テニス部メール ctr_tennis@yahoo.co.jp へ、ご連絡ください。（顧問からの問い合わせのみです。保護者等の方は、学校を通して連絡してください。）



以上